

## 都留市地域公共交通会議 第2回会議録

日 時：平成23年7月28日（木）14：58～16：22

場 所：都留市役所 3階 大会議室

委員出席者：奈良泰史委員、相川義美委員、八代直之委員、小宮正廣委員、天野友一委員、田中一利委員、村松正美委員、泉静男委員、大柴節美委員（代理 長谷川氏）、篠原勇委員、三浦政秀委員（代理 奥脇氏）、高部知幸委員（代理 橋本氏）  
矢嶋進委員

幹事出席者：中村平幹事、小俣光也幹事

事務局：高部剛政策形成課長、紫村聡仁政策形成課長補佐

鬘櫛美咲企画担当リーダー、佐藤秀樹企画担当、河野淳企画担当

欠席者：北村忠義委員、石合廣幸委員、金井啓二幹事

### 1 開会

司会：高部政策形成

課長

委員の変更がある。中谷委員においては、7月の異動により部署が変わった。後任として、三浦政秀氏が新たに委員となる。なお、本日は代理で奥脇氏が出席している。よろしく願います。

### 2 会長あいさつ（奈良会長）

委員の皆さんの出席に感謝する。1回目の会議では、3年間の「地域公共交通総合連携計画」について、地域の実状にあったものを策定することが承認された。また、協議会の設立についても承認された。

今回の会議では、実証運行の内容について協議いただく。なお、今回参考資料として、低炭素地域づくり面的対策推進事業の調査結果をお配りしているが、この成果も踏まえつつ実証運行を考えたい。よろしく願います。

### 3 報告事項

都留市地域公共交通活性化協議会の協議会規約の規定により、財務規程と事務局規程を作成したので、確認をお願いします。

### 4 協議事項

都留市地域公共交通会議設置条例第6条により、奈良会長が議長に就く。

#### (1) 都留市地域公共交通実証運行実施計画について

＜資料2、別紙1、参考資料1をもとに、事務局より説明＞

- ・料金を大人100円としたが、これは、現在運行中のバスの最低料金が150円であり、期間中に多くの人にバスに乗ってもらい声を聴かせてほしいという思いから、最低料金よりも低い100円とした。また、他市町村のバスの料金も参考とした。

- ・循環バスと宝地域のバスの増便については、平成22年度低炭素地域づくり面的対策推進事業の調査研究結果に基づき、実証運行する。(10月のみ)
- ・法能の新設バス停については、富士急山梨バスと警察、市の3者の打ち合わせにより、この場所となっている。この区間は自由乗降が望ましいという話もあり、自由乗降区間を定めた。また、この区間について朝7時~9時は大型車の規制がかかっているため、バスは入ることができない。よって、この区間に9時以降に入るよう、ダイヤを設定する。なお、1ヶ月実施し、再考する予定もある。
- ・庁内会議において、バスの時間を考える際は病院の時間を考えた方がいいという話が出ている。
- ・デマンド利用者増による便の遅延の際の連絡方法等、詳細は委託事業者が決まり次第、打ち合わせを行う。
- ・デマンドについて、バス停での乗車については、福祉タクシー等競合業者の営業の妨げとならないよう配慮したためである。
- ・宝地域のバスの増便は、市内でも一番人が乗るバスであることから、さらに利便性を向上させたときの影響等について検討する。

**【天野委員】**

料金について、100円という話であるが、循環線もデマンドも宝地域の増便分もすべて100円ということか。

**【事務局】**

100円である。

**【天野委員】**

収支については考えたか。

**【事務局】**

収支は考慮していない。これは、事業が成り立つかという視点で事業を組み立てたのではなく、多くの人に利用してもらうことを考えて料金を設定した。

**【天野委員】**

今後、実際に運行するという事になった際、あまりにも金額に変化がある場合、乗ってくれなくなる。そうなれば、今回の実証運行が全く無意味になってしまわないか。ちなみに、上野原ではデマンドは500円となっている。

加えて質問であるが、市外の方も利用できるか。

**【事務局】**

通常のデマンドは登録制であるが、実証運行では登録せずに必要な時に電話で申し込みすれば利用できるようになってきているため、市外の方も利用できる。その代わりに、所定の場所にて利用する形をとっているため、若干やり方が異なっている。今後、料金設定については、アンケートなどを実施し検証したい。

**【相川委員】**

宮原地区もバスを旧道に通してほしいという声もある。難しいと思うが、できればお願いしたい。

**【篠原委員】**

運行について、民家のあるところを走ってこそそのバスだと思うので、市と警察と考えたい。前提としては、1時間の範囲で循環することを考えている。警察にも立ち会ってもらい、運行可能であれば検討する。また、宝地域の増便分の料金の話について、どれが100円のバスでどれがこれまでのバスかを識別できるようにするべきと思うが可能か。

※宮原地区の運行については、事業者の確認により狭隘な道路であることから困難であるとの見解を受けた

**【村松委員】**

わからないが、可能であると思う。

**【小宮委員】**

土日祝日はやらないのはなぜか。大学生も温泉を利用したいと言っているが、平日のみだと利用できない。

**【事務局】**

今回は、昼に外出できない方々を対象にする。こうした方々は、土日祝日は若い人がいて足があるためやらないことにした。また、病院を起点にすることも同様の理由による。

**【篠原委員】**

実証運行は平日のみであるが、土日祝日は既存の路線が残っている。バスがなくなるということではない。

**【小宮委員】**

先ほどの料金の話についてであるが、今、月待ちの湯まで行くためには2本のバスに乗ることになり、かなりの金額がかかった。これが1本で行けて100円であれば、ぜひ活用したいと思う。

**【篠原委員】**

土日祝日に運行すべきという意見についても、実証運行後にあげてほしい。

**【奈良議長】**

今回の会議では、運賃や路線を決めたい。路線の大枠はこの通りでよろしいか。詳細は、今後できる限り検討していく。

**【天野委員】**

確認したい。実証運行期間は10月17日～12月16日で、土日祝日は実証運行しない。平日は、今の路線に加えて循環やデマンドを運行するということによろしいか。

**【事務局】**

土日祝日の運行については、事業者と確認が取れていない。また、実証運行中は、平日の既存の路線は廃止する。

※7月28日に事業者の確認 ⇒ 戸沢線の土日の運行については、現状のとおり

**【村松委員】**

今回の会議で大枠を決定しなければならない。

**【事務局】**

そのためにも、料金設定の合意を得たい。

【村松委員】

基本的には、会議の合意を得なければならないため、今日のこの場で決める必要がある。

【奈良議長】

路線の話から決定したい。法能線の路線は、警察や事業者等の打ち合わせにより、実現可能となった場合に、宮原の旧道を通すという形によろしいか。

【全 員】

よい。

【奈良議長】

料金について検討する。事務局は、できるだけ多くの人に利用してもらいたいということを目的に料金を設定しており、事業性の評価を目的としていない。

【橋 本 氏】

盛里線でのデマンドを考えた場合、朝 8 時のデマンド線は利用者が殺到する恐れがある。この場合、どのように対応するか難しい。また、通常タクシーの場合は 3,000 ~4,000 円かかるところを 100 円で運行するとのことであるがどうか。

【小宮委員】

確かに難しいと思う。

【橋 本 氏】

盛里も東桂も、(中心に来るために) 一番料金がかかるところをデマンドでやることになる。これをデマンドで 100 円で実証運行すれば、利用する人も多いはずだが、この期間が終わり実際に導入となった場合、運賃を上げなければならない。そうすると、利用しないのではないか。

【小宮委員】

しかし、医療機関への移動に地域間格差が生じるのは問題であると思う。

【奈良事業】

確かに、今の話も重要である。

【村松委員】

今現在、デマンドの実証実験をする区間のタクシー利用はどれぐらいあるか。

【橋 本 氏】

少ない。

【篠原委員】

逆にこのデマンドで利用が増えるか。事前のアンケートをもとに実証運行の方法等を考えており、それによると利用者はあまり多くないと思われる。

【天野委員】

デマンドを受ける業者は、市からも委託料が入る。業者へのデメリットはあまりないのではないか。

【八代委員】

話は変わるが、宝地区の増便について、どのような考えで増便するかを教えてほしい。

【事務局】

高校の通学に活用できるよう、朝と夕方の増便を考えている。ここにニーズがあると

思っている。

【村松委員】

デマンドについては、料金のバランスを考えて差をつけてもいいのではと思う。例えば、循環バスは100円で、デマンドは500円など。

【奈良議長】

いろいろ意見をいただいたが、そろそろ決めたいと思う。100円とするか、差をつけるか、挙手をお願いしたい。 100円にすべき ⇒10人 差をつけるべき ⇒ 2人

【奈良議長】

最終的な報告書の中では、この会議や利用者の意見を踏まえて計画を策定する。

【村松委員】

細部の確認についてはどうするか。

- ・市内循環バスは、第21条バス（道路運送法第21条）として運行する。
- ・何人乗りのバスにするか。
- ・ダイヤについてはどうするか。
- ・自由乗降区間についてはこれでよいか。
- ・デマンドに使用するものは、ジャンボタクシーとセダン型でよいか。
- ・デマンドは、路線や停留所を決めて走らせる形か。
- ・宝地域の増便は、100円でよいか。

これらは、事務局一任でよいか。

【全 員】

よい。

【天野委員】

1点確認させてほしい。宝地域の増便分はこれまでの料金ではないのか。

【事務局】

100円となる。

【天野委員】

混乱する恐れがある。どれが100円でどれがこれまでと同じ料金か、わかるようにしてほしい。

【篠原委員】

車両を差別化（ステッカーを貼る等）して、わかるようにしたい。

【相川委員】

周知が重要である。なぜ既存のものは料金があるままで、実証の車両は100円なのか、説明できるようにしないとしない。

【篠原委員】

皆さんにも周知と利用への協力をお願いする。

【小宮委員】

平日のバスの運行について、もう一度確認してほしい。

【事務局】

砂原線・曾雌線・戸沢線は、休止となる。ただし、戸沢線については、土日祝日は

運行する。

【村松委員】

実証運行が終われば元に戻るのか。

【事務局】

戻る。

【田中委員】

100円とはいっても、どれだけの人が乗るか不安である。PRが必要である。委員の期待を裏切る結果になる恐れもある。やる以上は効果を出したい。

【奈良議長】

最後に確認であるが、詳細は事務局一任でよろしいか。

【全員】

よい。

【奈良議長】

それでは、事務局に話を進めてもらう。これにて議事を終了する。ご議論いただき感謝する。

(2) その他

【事務局】

参考資料2について、本来なら協議会で説明すべきであるが、この場で説明させていただく。この資料のとおり、補助金を申請した。現在、国交省とやり取りをしており、まだ決定は下りていない。

【村松委員】

そろそろ決定されるはずである。

【小宮委員】

PRについて、広報にクーポンを付けてみてはどうか。アイデアとして受け止めてほしい。

【奈良議長】

資料を見ていただくとわかるとおり、庁内でも様々なPR策を考えている。委員のアイデアも参考にさせていただきたい。

【村松委員】

クーポンの使用は可能だと思う。検討していいと思う。

【小宮委員】

資料にあるイベントバスとはどのようなものか。

【事務局】

イベントなどにおいてバスの利用を呼び掛けたり、バスに乗ることで楽しめるイベント（つるビーと乗車等）などである。

5 その他

【事務局】

前回の会議録について、公開が原則となっていることから、ホームページで公開す

る。気づいた点があった場合、事務局まで申し付けてほしい。また、本日の議事録も郵送等で委員に示し、公開する。

## 6 閉会

(16:22 終了)